

金沢市地域福祉計画 2023 についてのパブリックコメントでのご意見と金沢市の考え方

- | | |
|---------|----------------------------|
| 1. 募集期間 | 令和4年12月26日（月）～令和5年1月25日（水） |
| 2. 募集方法 | メール、郵便、ファクシミリ、又は窓口へ持参 |
| 3. 意見 | 意見者数 3名 意見数 12件 |

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
1	<p>5才～10才くらいまでの子ども達について、ボランティアの方々の協力を得て、色んな事を見られるようにする。</p> <p>平日の学校終了、習い事など終わった夕方、兄弟といっしょに、体育館などに寄って簡単な食事（ロストに近い食べ物、おにぎり、パン、牛乳等）を食べて帰る事にして、その会場に寄る。</p> <p>そこではボランティアの人が、ピアノ、絵、習字、バスケット、サッカーなどを楽しみながら見せてくれる。ボランティアの方は、習い始めて、楽しさを感じ始めた方から誰でも参加する。会費は年間100円でもいいので兄弟から出してもらおう（目的は続けてもらう事）。</p> <p>色々見て、子どもが自分でしたい事を決める。1年間に体験をいくつでもして、自分の特性や興味を深める。家族は、アドバイスはしても、決めるのは本人。何もしない子どもがいても、それは自分で決めたのでOKです。高学年になると、部活をする時の参考になると思う。</p>	<p>地域全体で子どもを見守り、育む環境を作ることは、地域福祉の重要な役割の一つと考えています。</p> <p>子どもの居場所づくりや様々な体験を支援するボランティア団体へ活動費補助などを通じて、地域みんなで子どもを育てる地域福祉活動を今後も促進していきます。</p>
2	<p>60代の、定年後の健康で生活の中で動ける方々について、それぞれの時間の中で、許される曜日、時間をボランティア的に使ってもらい、人としての程良い距離でつながりをもっていく。自分の趣味を少しずつ、子ども達に伝えていき、集う中で、程良い人間関係をつくっていく。</p> <p>小学校や中学校、公民館などの1室に複数の男女が常に居て、楽しく笑い声のたえない日々を続ける。入口には“どなたでも自由におはいり下さい”など看板を出しておく。本を読む人、碁や将棋をする人、女性では編み物、ぬいものなどしたりして、楽しい所とする。責任者は元小学校の校長先生、中学校の校長先生、元公民館長さんで、錠の開けしめと、たまに顔出しをお願いする。土曜、日曜はより長い時間あけて、若いパパ、ママ、子ども達の居場所になるようにして、リフレッシュできるようにしてあげる。</p>	<p>これまでも、善隣館によるいこいの広場事業や、地区社会福祉協議会による地域サロンの運営など、世代間の交流を進める事業を実施しており、引き続き、行っていきます。</p>

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
3	<p>食品ロス対策の一つの案として、現実の捨てられていく食物など、ひと家族が、一度は経験し家族で実感する。</p> <p>決まった日の朝早くか、夜であれば店の閉店後、廃棄する食べ物などを集める作業をする。その物をより生かせる活動をするとともに、改めて、食について考えてもらう。</p> <p>又それぞれの店も食品を並べた所に看板を立て、“これだけの数を並べましたが、もし追加希望あれば声をかけて下さい。当店はロスト食品を出さないよう心がけています。アンケートでこれを目安としました。”などと出してみるのも良い。</p> <p>子どもが小さいうちに野菜なりを植え育て、食べてみる。くだものなどの木は記念日などに相談して決めたり、工夫して、食べ物のありがたさを感じてもらう。</p>	<p>ご提案の内容は、食品ロス対策を担当している環境政策課と共有させていただきます。</p>
4	<p>計画案は問題点や課題は良く把握されている。しかし、福祉関係は制度が複雑で知識や経験が必要だが、旧来からの地域の団体等は関係者の高齢化や活動の硬直化が進み、あまり期待は持てないと思う。計画案には「地域の各団体等の連携」(p15)とあるが、どこがリードするのか不透明である。むしろ、地域包括支援センターの機能の拡充・追加または同種の専門性の高い組織を新設する方向のほうが将来的に良いと思う。</p>	<p>地域の各団体間の連携については、行政と市社会福祉協議会が中心となって進めていきます。</p> <p>また、地域包括支援センターの機能強化については、明年度策定する新たな長寿安心プランに反映していきます。</p>
5	<p>福祉については核家族化を原因として、「地域」でという経緯があると思うが、「地域」が叫ばれるあまり、家族・近親者が地域任せにする兆候も見られると思う（親が子供に負担を掛けたくない意識もある）。このまま町会や地域の団体の負担が増えれば、さらに町会役員等のなり手がなくなる。家族・近親者に第一義的な保護者責任があることも啓発しつつ、地域計画の策定や検討をお願いしたい。（空き家問題や少子化にも通ずるもの）</p>	<p>地域福祉の基本的な枠組みとしては、自助・共助・公助の連携によって取り組むことが重要であると考えており、素案の「計画の基本的な考え方」(P4)に記載しています。</p>
6	<p>計画期間を明示してください。もし計画期間を定めない場合は、何年くらいのスパンで考えているのか、あるいはそれも示さないのか、明示してください。</p> <p>金沢市の他の中長期計画では計画期間が明示されています。この案のP7「超高齢・人口減少社会の進行」の項目に「本計画期間内に・・・」との記述がありますが、計画期間の記載がいません。</p>	<p>パブリックコメント募集案内に記載してありとおり、計画期間は2023年度から2027年度までとなります。</p>

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
7	<p>P5「(3) 地域福祉に関する「圏域」の捉え方」</p> <p>「① 日常生活に関わる事項に関しては、従来の小学校区を単位とした意識的な団結が存在し、小学校が統廃合されても「校下(※)」という枠組みはしっかりと残っていること。」について</p> <p>(a) 小学校が統廃合されても「校下」は統合すべきではない、ということなのか、(b) 小学校が統合されてもその新しい学区であらたな「校下」を制定してもよい、ということなのか、文の意味があいまいであり、どちらなのか明確化すべきです。</p> <p>(b) の意味だとおもわれますが、もし(a) の意味なら大きな問題ではないでしょうか。もし「校下」が自治的組織の単位であるとすれば、人口の大幅な減少など地域の事情によっては、住民の十分な議論に基づく合意があれば、自主的な合併等も許容されるべきです。もし仮に、住民の合意があるのに行政が(合理的理由がないのに)無理に合併を拒むことがあれば、地域団体の運営にしわ寄せが生じ活動の疲弊や衰退にもなりかねず、むしろ持続可能性を損ねかねないと危惧します。</p>	<p>これまでの団体の活動実績を尊重するという意味であり、小学校が統廃合されても「校下」は統合すべきではないというような意図はありません。</p> <p>なお、「小学校区」と「校下」の文言の使い分けが明確でないことなどから、P5の「本計画では、次の理由により…」から、「…「小学校区」という用語を統一的に使用します。」までを、以下のように修正します。</p> <p>「本計画では、原則として、小学校区(※)を基礎的な地域福祉の圏域として捉えることとします。なぜなら、小学校区の圏域は、住民が地域意識を持ち、かつ、主体的に活動できるエリアであり、公民館、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、日本赤十字活動における地区・分区、消防団、地域サロンに至るまで、概ね小学校区ごとに活動し、又は組織されているからです。</p> <p>(※) 地域福祉の基礎的な圏域となる小学校区は、概ね小学校の通学区域と同一ですが、学校の統廃合等により地区によっては異なる場合もあります。」</p> <p>また、地域における自治に関するご意見については、地域コミュニティに関する施策を担当している市民協働推進課に伝えさせていただきます。</p>
8	<p>P7-8「地域コミュニティの変容と地域生活課題の多様化」</p> <p>「近年特に多くみられる地域生活課題」に「ヤングケアラー」の問題も含めてください。</p> <p>ヤングケアラーの問題は、近年ようやく着目されるようになった課題です。ケアを必要とする親と学業等のかたわらケアをしている子どもとの両方を支援する必要があり、この「地域福祉計画」において見過ごすことなく、含めるべきです。</p> <p>石川県では「石川県ヤングケアラー実態調査」結果に基づき、「いしかわ子ども総合条例」の改正を予定しており、現在、パブルックコメントで意見募集中です。</p>	<p>本計画においては、「(基本的方向②—イ) 早期発見に向けた見守り体制の強化」(P14)の(施策の方向性)に記載してある「従来の見守り活動からもれる人や、制度からもれる人」の中に含めて考えていますが、ヤングケアラー支援に関する検討会を開催するなど、現在、本市においても取組を進めていることから、ご提案のとおり、地域生活課題として明記します。</p>

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
9	<p>P12「(基本的方向①ーウ) 地域福祉活動の担い手の育成と環境の整備」－(施策の方向性)</p> <p>「このほか、担い手不足を補うため、支援を必要とする人たちを支援する側へとつなげるための地域活動への参加を支援します。」について重要なポイントとおもいます。金沢ボランティア大学校では、修了者が適切なボランティア活動に出会いにくいとも聞きます。ボランティア希望者とボランティアを必要とする人・団体とのマッチング支援を図るとともに、講座内容をニーズに沿ったものに改善し、地域活動の運営に必要な実践的スキルの習得・向上に役立つ内容にすべきです。</p>	<p>ご提案の内容は、金沢ボランティア大学校と共有させていただきます。</p>
10 ・ 11	<p>P16「(基本的方向③ーウ) 人権尊重と権利擁護の取組への支援」－「(現状)」</p> <p>次の【】内を補足してください。</p> <p>「地域福祉を推進していく上で、最も大切なのは「人権を尊重する」すなわち市民一人ひとりが性別、【性的指向、性自認、】年齢、障害の有無、【健康状態、】国籍【、家族の状況】などに関わらず、【すべての】人間をいたわり尊重することです。」</p> <p>【、性的指向、性自認】の追加について：単に（戸籍や住民票上の）男女の性別だけでなく、性的指向や性自認にかかわらず、だれもが地域福祉においても、平等に扱われるべきです。金沢市のパートナーシップ制度の発足もふまえ、捕捉すべきです。</p> <p>【すべての】の追加について：人権尊重のあり方として、ある属性の人は（大いに）尊重され、ある属性の人は（あまり）尊重されないということがあってはなりません。その点を明確化するために、追加すべきです。</p> <p>【健康状態、】【家族の状況、】の追加について：障害はないが健康でない人も/健康な人も、一人暮らしの人も/ひとり親の世帯も/3世代世帯も、同様に尊重され、地域福祉によってみまもられるべき存在です。</p> <p>「障害者虐待を受けた人」→「障害者、虐待を受けた人」と修正してください。（、が脱落）。</p>	<p>表現を修正し、「すなわち市民一人ひとりが、属性に関わらず、全ての人をいたわり尊重することです。」とします。</p> <p>また、「児童、高齢者、障害者虐待を受けた人」の部分を、「虐待やDVの被害を受けた人」に修正します。</p>

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
12	<p>計画表紙について、広く活用されやすいよう、計画の対象年度（例：2023～2027年度）があれば、表紙にも明記してください。</p> <p>また、「金沢市地域福祉計画 2018」の表紙は、15人すべてが同じ肌の色で、また障害を持つとみられる人や、海外にルーツを持つと思われる人はいませんでした。金沢市には、「ノーマライゼーションプラン金沢2021」によれば令和2年で15,000人を超える身体障害者手帳所持者がおり（それ以外にもさまざまな障害を持つ人も多数います）、令和3年度5,000人を超える在住外国籍の住民がいます。新計画では、「ソーシャルインクルージョン（社会的包摂）の実現」を基本理念に掲げており（P2）、これにふさわしいイラストに改善してください。</p>	<p>表紙デザインの検討にあたって、参考にさせていただきます。</p>

（注）ご意見については、一部要約して記載しております。